

# 指導を受けるケアマネ作成

## 課題整理総括表

利用者名 A 殿

作成日 / /

自立した日常生活の阻害要因 (心身の状態、環境等)		①左大腿骨折 ④夫が病弱、姪が就労			②下肢筋力低下 ⑤家事ができない			③住環境が悪い ⑥外出の機会減少				
状況の事実 ※1		現在 ※2			要因※3	改善/維持の可能性※4			備考(状況・支援内容等)			
移動	室内移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化	家具や柱につかまって1階は目立。階段昇降しておらず、玄関扉昇降やや危険。屋外は100m以上連続歩行は困難。1本杖使用。		
	屋外移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化			
食事	食事内容	支障なし			支障あり		改善	維持	悪化	調理は週3回姪が作り置き。他に簡単な調理はしている。		
	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化			
	調理	自立	見守り	一部介助	全介助	①②⑤	改善	維持	悪化			
排泄	排尿・排便	支障なし			支障あり		改善	維持	悪化	洋式便座、手すりあり。		
	排泄動作	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化			
口腔	口腔衛生	支障なし			支障あり		改善	維持	悪化	シャワー浴で姪の洗身介助受けている。浴槽出入りは動作困難なためして		
	口腔ケア	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化			
服薬		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化	1階掃除機かけ以外は姪が実施、ごみ捨てもしてもらっている。		
入浴		自立	見守り	一部介助	全介助	①②③	改善	維持	悪化			
更衣		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化	姪にしてもらっている。		
掃除		自立	見守り	一部介助	全介助	①②⑤	改善	維持	悪化			
洗濯		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化	痛みや家事が十分行えないことにイライラあり。地域の手伝いできず申し訳なヘルパー資格のある姪が通いで手伝ってくれたが、就業してしまう。息子夫婦はあてにできない。夫は病弱。		
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化			
金銭管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化	布団で就寝、床からの立ち上がり困難。浴室や玄関、階段での動作に支障		
買物		自立	見守り	一部介助	全介助	①②③⑤	改善	維持	悪化			
コミュニケーション能力		支障なし			支障あり		改善	維持	悪化	布団で就寝、床からの立ち上がり困難。浴室や玄関、階段での動作に支障		
認知		支障なし			支障あり		改善	維持	悪化			
社会との関わり		支障なし			支障あり	①②③⑤⑥	改善	維持	悪化	福祉用具や住宅改修を行い住環境を整えることで安全に移動することができるようになる。		
褥瘡・皮膚の問題		支障なし			支障あり		改善	維持	悪化			
行動・心理症状(BPSD)		支障なし			支障あり		改善	維持	悪化	福祉用具や住宅改修を行い住環境を整えることで安全に移動することができるようになる。		
介護力(家族関係含む)		支障なし			支障あり	④	改善	維持	悪化			
居住環境		支障なし			支障あり	③	改善	維持	悪化	福祉用具や住宅改修を行い住環境を整えることで安全に移動することができるようになる。		
		支障なし			支障あり		改善	維持	悪化			

利用者及び家族の生活に対する意向	友人との会食やカラオケにまた行けるようになりたい。しっかり回復しないといけないと思う。	
見通し ※5	生活全般の解決すべき課題(ニーズ)【案】	※6
姪が担っている家事をヘルパーが行うことで今と変わらない生活を送ることができるようになる。	姪の代わりに家事を手伝って欲しい	1
自宅での入浴が難しいので通所等の利用で安全に入浴が行えるようになる。	かがみ動作ができず入浴ができない	2
趣味や社会活動に参加したい	転ばないように安全に移動したい	3
通所や通所リハビリを利用して機能訓練を行ったり他者と交流を図れる機会を作ることができる。	趣味や社会活動に参加したい	4

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。

※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。

※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。

※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。

※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。